

会 議 録

1 会議名	第7回南砺市男女共同参画推進審議会
2 議題(公開)	1. 開会 2. 会長あいさつ(渡邊 美和子) 3. 付議事項 ①南砺市男女共同参画推進プラン(第2次改訂)策定経過と今後のスケジュール ②南砺市男女共同参画推進プラン(第2次改訂)最終案について 4. 副会長挨拶(佐竹 弘昭) 5. 閉会
3 開催日時	令和5年6月27日(火) 開会時間:午後7時/閉会時間:午後9時55分
4 開催場所	南砺市役所 本館4階 401会議室
5 会議出席者	[委員:出席11名/全14名] ※50音順 安達 望、岩井 透、大坪 久美子、此尾 治和、佐竹 弘昭、戸成 博宣 橋爪 央樹、藤井 篤子、水木 宏一、渡邊 美和子、和田 弘恵 [委員:欠席1名] 浦井 啓子、谷口 恵、藤井 篤子 [市:出席3名] 事務局 南砺で暮らしません課 課長 大浦 幸恵 " 女性活躍・婚活支援係 係長 石崎 裕子 " " 主事 米 由香利
6 傍聴者	なし
7 会議記録 (1)開会	午後7時00分 ・事務局の紹介 ・新任委員の紹介
(2)会長挨拶	昨年から6回議論を重ねてきて、政策参与の須河様にもご助言をいただいた。どういう風に表現するかで悩み、ある程度までポイントは集約できていると認識している。前回の審議会から時間も経過しており、また事務局も変わられたことで、これまでの経緯は議事録を確認いただき、事務局から今回の案を提案いただいた。気が付いたことは忌憚のないご意見をいただきたいが、今日中にできたらまとめていきたい。私自身の進め方もよくなかったのではと反省したが、これまで丁寧に議論を重ねており決して無駄ではなかった。それが無駄にならないように最終の点検ということで皆様には議論をお願いしたい。

(3)付議事項

・事務局より配布資料の説明・確認

- ① 南砺市男女共同参画推進プラン(第2次改訂)策定経過と今後のスケジュール
事務局 資料1に沿って説明
- ② 南砺市男女共同参画推進プラン(第2次改訂)最終案について
事務局 資料2及び追加資料に沿って説明

A 委員

担当課メンバーがガラリと変わられた中、まとめてくださり大変お疲れ様でした。事前にいただいた資料をみての意見も持ってきたが、まずは今新たな資料で示された指標について、気づいたことをお伝えしたいと思う。

・成果目標指標1. 男女が互いに尊重し合える意識づくり(1)「南砺市がジェンダーギャップ(性別による格差)の解消に取り組んでいると思う」という設問はもっと南砺市は自信を持ってもっと高い目標にしてはいかがか。30%では低すぎないか。

・成果目標指数3. 男女が共に活躍できる社会づくり(2)①延長保育事業の利用者数を指標にすることについて議論にあがっていたが、どのような考えや目標があるか。また下段の病児・病後児保育事業の利用者数は、1日の定員が決まっていると思うので、希望して預けることのできた割合を示すほうがより環境が整っているかどうかの指標になるのでは。

・成果目標指数3. 男女が共に活躍できる社会づくり(2)⑤地域づくり協議会(31 団体)事務局長の女性の割合について書かれているが、これまでの会議では部会長の女性の割合を指標にする案が出ており、それも入れてはどうか。

・成果目標指数3. 男女が共に活躍できる社会づくり(3)⑤市男性職員の育児休業の取得率向上で目標値は「向上」となっているが、県の指標は80%となった。南砺市ももう少し頑張れるのではないか。指標は大事なところなのでみんなで議論が必要になると思う。

・改訂案 P5 の【目指すべきまちの姿】は、第2次南砺市総合計画を「参考」としているということなので、男女共同参画の計画として目指す文言をもう少し盛り込んではどうか。

事務局

・ご指摘いただいた成果目標指標について、【担当課目標指数】や【総合計画評価指数】など記載していると思うが、各担当課で目標として定められているものを引用したので、その目標数値を変更することはできないのでご了承いただきたい。

・成果目標指数3. 男女が共に活躍できる社会づくり(2)①延長保育事業の利用者数が増えることが男女共同参画として喜ばしいことなのかについて、本来は延長保育が必要のない社会づくりが必要なのではと思うところではあるが、現在は子育てしながら働きやすい環境づくりが子育て支援の目指す姿であることから、ご理解いただきたい。また、この指標も担当課が定めた数値であり、その計画には数値を定めた理由も記載されている。説明不足で申し訳ない。

・成果目標指数3. 男女が共に活躍できる社会づくり(2)⑤地域づくり協議会(31 団体)事務局長の女性の割合について、南砺市は現在、小規模多機能自治という組織体制をとっている。各部会制となっているが、その部会をまとめるのが、事務局長であると聞いている。意思決定に最も近いポジションであるため、事務局長を選択した。

会長

・事務局長を選択されたことについて、これまでの審議会では、「会長の女性の割合」と「部会長の女性の割合」を目標指数とすることでほぼ合意されていた。「事務局長の女性の割合」がだめということではないが、前回の会議まではほぼ決定していたので、部会長は入れていただきたい。先ほどの事務局からの説明を聞くと、事務局長も追加していただければいいと思う。

B 委員

事務局長に関しては、給与や保険関係で縛りがある。男性・女性というよりも、事務局長を探すのに大変苦労している。これは各地域で大きな問題となっている。

会長

地域づくり協議会(31 団体)事務局長の女性の割合目標値は、事務局の方でもっているのか。

事務局

毎年、国・県より女性の公職率の照会があり、そこで定めている数値となる。

会長

地域によっては会長を支えているのは必ずしも事務局長とも限らないのではないかと。

事務局

部会長の数はこちらで把握しづらい。また方針決定の場への女性の進出という目的から、事務局長にさせてもらった。また、会長・副会長・事務局長の女性の数を一括りにすると、会長の数がぼやけてしまうので避けたい。

c 委員

事務局長が必ずしも意思決定をしているわけではなく、地域によると思う。部会長の意見を事務局長が吸い上げている地域もある。

会長

再度申し上げるが、今までの議論で、事務局長の案は出てなかった。事務局長を追加することは全く構わない。部会長は追加する方向でほとんど決定していたので、入れるようお願いしたい。当時の事務局からは、否定的なことは言われなかった。数の把握ができないのであれば、今からその方法を考えてほしい。

事務局

承知した。会長、副会長、事務局長、部会長でそれぞれ女性の割合でお示しする。

A 委員

部会長の女性はまだいないが副部会長は増えてきている地域もあるということなので、

指標としてカウントしにくくても、情報としては(副部会長の女性割合などを)把握していく工夫していくと良いと思う。

D 委員

第3次の策定の際は、各地域づくり協議会の現状を把握し、意思決定の場に副部長が関わっているのであれば、指標に追加していけたらいいと思う。

会長

今日は、これまでの議論を踏まえてということで、4役に決定でお願いしたいと思う。

B 委員

目標値が下がっている項目がいくつかあるが、理由を教えてください。市民の方も疑問に思はず。＜向上＞にすれば良いのではないかと。

事務局

この目標値は各担当課で決定したものであり、目標値の期限がバラバラになっている。また、R3の時に定めた目標値を記載していることから、逆転現象がおこった。また、R8を待たずに終了する計画も中にはあり、途中にあらたな目標と新たな数値が定められる。目標をクリアしているので、見直しを図る担当課もあるかもしれないが、今はわからない。ここは随時審議会で見直し、報告する部分でもあることから、ご理解いただきたい。

副会長

表現が正しいかどうかわからないが、ゴールポストが2つあるということか？そういうことであれば、毎年の審議会の数値の推移を提出していただきたいと思う。

事務局

毎年の審議会の際には進捗状況をお示しいたいと思う。また、目標値が下がっている箇所については、＜向上＞に変更する。

会長

今回の会議でいくつも直した部分があるが、根底は意識の改革であると思う。設問が、「南砺市がジェンダーギャップの解消に取り組んでいると思う」なので、高めに設定しても良いと思う。

D 委員

コロナワクチンにおいて、集団免疫が獲得できるのは、7割ほどだと言われていた。南砺市の意識改革も、7割はないと社会全体が変わらないのではないかと。意識の部分であるので、7割が良いと思う。

会長

その人なりに取り組んでもらえれば良いので、思い切って7割でいくのはいいと思う。南砺

市のアピールにも繋がる。令和3年度は9.2%で令和4年度はもう少し上がっているのでは。

事務局

R4年度も同じ数字。横這いであった。

E 委員

昨年、地域づくり協議会での講演会を小安さんをお願いした際、小安さんは、南砺市の地域づくり協議会はかなり手ごわいとおっしゃっていた。

会長

これからは、もちろん全世代の人に意識改革をしていただきたいのだが、世代が関係しているので仕方がない部分もある。次世代の人にわかってもらえる取り組みが大切。

E 委員

どうしてもジェンダーギャップとジェネレーションギャップが存在する。

副会長

先日、6月議会で、市民協働部会長より、男女共同参画の推進について、地域づくり協議会に対する講習会を開催すると言われていたが、やみくもに数字だけ出すよりも、講習会を受けて男女共同参加のスキルを持った人が、地域づくり協議会の組織のトップに立ったほうが良いと思う。

事務局

7月からアンコンシャス・バイアスを解消するセミナーを開催する予定。主に地域づくり協議会の若手の方に2～3名ご参加いただこうと考えている。また、小規模多機能自治は地域の方が主人公である。なので、会長になる方はこの資格、この講習を受けた人ではないとだめとは言えないのが現状である。ただ、セミナーなどのご案内は積極的に実施しようと考えている。

D 委員

政治の部分での女性の割合について、この計画に入れる、入れないは別にして、市議会に投げる形で令和8年までをお願いしたらいいのではないかなと思うが、具体的な数字は記載できないとしても、政治という文言だけはどこかに付け加えても良いのでは。

A 委員

政治分野の男女共同参画については、これまでの会議で何度も話題に出ており、指標に入れることは、今回は難しいとしても、この間、法律ができ、国や県の計画でも記載があり、この流れを南砺市民に周知する必要がある。まずは、行政ができることから、記載をしてもらいたい。政治分野の男女共同参画推進法は、2018年にでき、さらに3年後の2021年に改正もされてより強化されている。このことも、本計画の背景、国の動きの部分

へ記載が必要だ。

会長

これまで、この分野は議論が深くされていないので、具体的なことは記載できないが、認識しているという、第3次計画に繋げるアピールは必要ではないか。

副会長

先日の県の研修会でも、日本の女性の政治分野への進出割合が非常に少ないと言われていた。県の第5次プランでも触れられている。推進や普及という文言なら追加しても問題ないと思う。女性が様々な分野で力を発揮することは必要なことだと思う。

会長

たとえば、③女性の能力発揮の支援の箇所に、「政治分野における女性の能力発揮に向けたセミナー」など、そのことくらいであれば書ける気がする。議員養成講座など、実際しているところはある。そんなストレートでなくてもいいが、実際に立候補してもいいかなと思う人が勉強できる場を提供してもいいと思う。選挙そのものはもっとむずかしい仕組みであるが、これからの人たちに、政治家になるのも可能と思ってもらえるようなプランにしたいと思う。

A 委員

今回、概要版は作成するか？

事務局

印刷物を作成する予定はない。もちろん、すべて決定したら、新たに追記したものをA3の概要をPDF(電子)にて広く公表する。本を皆さんに配布するよりも効果的であると思う。

A 委員

そういう箇所に、分かりやすく追記されたらなおのこといい。
追加する場所としては、P33,34の3. 男女が共に活躍できる社会づくりの(1)政策・方針決定の場への参画推進と人材育成の部分に項目として入るのがよいかと思う。

E 委員

南砺市の課題で、女性・若年層の流出が止まらないと言われている。その原因の一つは、女性の声が反映されていないことだと思う。そういう観点からも、文言を追加すべきだと思う。

B 委員長

どこに入れるか、ここで決めていきたい。すっきりするのは、P33.P34であると思う。

事務局

では、確認させていただきたい。プラン P33 の 3. 男女が共に活躍できる社会づくり、④

を新設、「④政治分野への女性参画の推進」、P34 の(1)④を新設し、「④政治分野への女性参画の推進」・政治分野への女性参画の推進に向けて、調査、検討に取り組みます。と追記させていただく。

副会長

P.35(3)働く場における環境づくりの推進について、雇用側の意識改革の文言も付け加えた方がいいと思う。

事務局

経営者対象のセミナーを行政側が実施するというのであれば、商工会とか JC さんが実施していると思う。

事務局

具体的に議論をいただいて、どこに何をを入れるかをここで決定してほしい。

D 委員

情報発信を双方向に実施するという意味で、「④就職期の若者や女性から選ばれるための対策」に入れ込んだらどうか。「若者の UJ ターン・T ターン就職を促進するため、経営者及び県・市内外の高校生や大学生に対し、市内企業などの採用や就職支援にかかると情報発信に取り組みます。」としたらどうか。

事務局

承知した。また、P5 について、ここで記載しているのはあくまでも南砺市の【目指すべきまちの姿】である。男女共同参画として目指すべきまちの姿は、P26.P27 であることをご理解いただきたい。

A 委員

理解した。まったく内容が同じであるならば、下部の「参考」という記載は「出典」となると思う。

会長

先に話していた、設問が、「南砺市がジェンダーギャップの解消に取り組んでいると思う」の目標指数について、70%で決定したい。

そのほかにはないか。

A 委員

現行の計画書の基本理念、施策の基本目標が、計画案では抜けているのでは。

事務局

修正がないので、追加をしていないだけ。大変申し訳ない。

事務局

最終的に一度皆さんと確認したい。

- ・P1 に国の動きとして政治分野の文言追加
 - ・P5 の【目指すべきまちの姿】内の「参考」を「出典」に
 - ・P33(1)に④政治分野への女性参画の推進を追記
 - ・P34(1)④政治分野への女性参画の推進、政治分野への女性参画の推進に向けて調査・検討に取り組みますを追記
 - ・P36④・若者のUIターン・Tターン就職を促進するため、経営者及び県・市内外の高校生や大学生に対し、市内企業などの採用や就職支援にかかる情報発信に取り組みます。「経営者及び、採用や」を追記
 - ・成果目標指標1(1)①のR8 目標指数70%に変更
 - ・成果目標指数3(2)⑤地域づくり協議会の会長の女性割合について、会長・副会長・事務局長・部会長の4 カテゴリーを追記、いずれも目標値は30%
 - ・現状と目標値が逆になっている事柄は、向上とし、欄外に注釈を追記する。
- 以上となる。

A 委員

最後に一つ、5(1)①審議会を年1回以上、行政機関の施策担当者が集まり、年1回以上と記載があるが、リンクしているようでされていない気がする。行政担当者と審議会と一緒に議論できる場があったらいいと思う。これまでは、審議会での意見を事務局が伝えるという方法だったと思うが、その部分の繋がりがほしい。

事務局

文言としては、ここに記載されているので、あとは工夫次第であると思う。委員が言われる通り、取り組むべき事柄であるし、努力したいと思う。

会長

このことは、前にも議論されていた。担当課の方がいないの中での議論は非常に虚しい。県の審議会は担当課が出席していることが多い。今日は意見としてお伝えするが、市としてもこういった体制をお願いしたい。

課長

審議会と行政機関の施策担当者の文言は別々に記載されているが、一緒に実施することはできるし、進め方次第であると思う。

事務局

この審議会の中で疑問に感じたことなどをお手紙で投げかけ、回答をもらうというやり方もある。

会長

その場で聞いて、素朴な疑問もすぐに聞いて回答をいただく体制が良い。事務局では、

わかっていることは回答をもらえるのだが、なかなか核心に届かないことがいつもある。

事務局

今後の取り組みの検討課題として参考にしたい。

F 委員

市役所や審議会もちろん大事だが、P38 の(1)③関係団体との連携が一番重要となる。関係団体とは、どういったイメージなのか。

事務局

経営者の方などと連携した取り組みである。去年は、経営者向けのセミナーを行った。今年度、地域づくり協議会の方対象にセミナーを開催する予定である。

A 委員

「関係団体」は、地域組織、企業、NPO・・・小さな子育てサークルなども、多様な活動団体が情報交換できる場があればいいと思う。PDCA サイクルなど、ステップを図にしてみるなどわかりやすく、見える化したほうがいいのではないかな。

F 委員

2 行だけで、あまりにもサラッとしている。ここが一番大切な部分ではないか。

事務局

第3次に向けての課題とさせていただく。関係団体との連携は、具体的にどう関わっていったらいいかというのは、今後皆さんのお知恵を借りながら、考えていきたい。

D 委員

PDCA サイクルはプランを考えなければならず、時間もかかる。実施(Do)から入ってしまうサイクルもある。そのほうが広く啓発にも繋がる。

会長

第 3 次に向けての検討と言わず、やれることはすぐ実施してもらって、報告してもらいたいし、そういう風に言えることはこの計画の中にたくさんある。

A 委員

年度中に進捗報告があると思うが、実験的に何か実施してほしいと思う。

事務局

考えてみる。皆様にご相談するかもしれないが、ワークショップなどにするかもしれない。

会長

P(プラン)をすることがお仕事になってはいけないと思うし、審議会は審議する側ではあ

るが、須河さんにも言われた、正しい外圧になるよう、事務局には回してもらいたい。

会長

みなさんご覧になって、P1の市長のあいさつをいただき、P73はパブリックコメントの後に審議会のあいさつを入れたいと思う。その文章はどのように皆さんに確認いただいたらよいか。

事務局

パブリックコメントの際は、2つのあいさつは入れない。よって、パブリックコメントが終わったあとのあいさつの確認は文書審議としたい。今日の修正版の確認は、本当は皆様に確認いただきたいのだが、スケジュールがとてもタイトになっている。よって会長、副会長にみていただいて後は事務局一任にさせていただきたい。

F 委員

P74の名簿について、これまでの委員の方々の名前も入れてあげてほしい。

事務局

承知した。

A 委員

パブリックコメントの内容によっては、また集まるというお話があったが？

事務局

軽微なものは会長、副会長と事務局で調整していきたいがよろしいか。

会長

集まるか集まらないかは、会長と事務局に一任させていただきたいと思う。趣旨の変わらない軽微なものについては、報告としてお願いしたい。

A 委員

パブリックコメントを実施する周知を積極的にしなければいけない。広報が足りないとコメント0など本当に少ない場合がよくある。積極的に回答いただけるようお願いしたい。若い世代にアンケートをとったのは、何かアプリを利用したそうだがパブコメでも活用できるか。

事務局

保育園のICT化を進めてきており、公立保育園に入園している全保護者はすべてアプリでつながっている。そのアンケート機能を利用し回答いただいた。

副会長

結果も共有できるのか。

	<p>事務局 保育園アプリのお知らせ機能を使えばお知らせはできる。アンケート実施は、そのお知らせ機能を使い、回答するフォームはまた別のものを使っている。 今回のパブリックコメントは、なんと HUG で広くお知らせする予定。</p> <p>A 委員 アンケート結果も広くお知らせしてほしいと思う。なんと HUG はみなさん登録しているものなのか。</p> <p>事務局 妊娠期から推奨している。小中学校の保護者のアカウント登録はまだ少ない。ただ、子育て支援への助成金など、なんと HUG を通してできるように変更したので、今後アカウント登録は格段に増えると思う。</p> <p>副会長 地域づくり協議会にもパブリックコメントの募集を周知してほしい。</p> <p>事務局 もちろん周知する。</p> <p>会長 アンケート結果も地域づくり協議会の方にしっかりと見ていただきたい。冊子に掲載されるあいさつ文も、第 3 次にもむけての改訂であったということを入れていきたい。</p> <p>B 委員 冊子に公民館という文言が残っているので、交流センターに変えたほうが良い。</p>
(4)副会長あいさつ	<p>1 年以上もみなさんとこのプランについて審議してきた。次は第 2 次プランの見直しを通して成果がでるので、今度は地域に戻って、あるいは自分自身の立場で実践していく、あるいは働きかけるということが必要になってくる。このことは終わりのないことだと思うが、みなさんが目標を持って取り組めたらいいと思っている。男女共同参画推進員として頑張っておられる地域住民の方もいるのでどうぞ協働して推進していきたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願ひしたい。</p>
(5)閉会	<p>午後9時55分</p>